

2026 年 6 月吉日

各 位

一般社団法人

日本トンネル専門工事業協会

代表理事 会長 横山 英樹



2026 年度「登録トンネル基幹技能者」講習開催案内

I. 講習の開催概要

本講習は、建設業法施行規則第 18 条の 3 の 6 の規定に基づき、本協会が「登録トンネル基幹技能者」の資格認定を行うため実施するものです。2026 年度より講習は e ラーニング（LMS 方式）、試験は CBT 方式により実施します。

講義受講および試験合格後、登録基幹技能者育成委員会審査を経て修了証を交付します。

(1) 受講の資格

- ① 経歴基準：トンネル技能に関する実務経験を 10 年以上有する者で、そのうち職長等の指導監督的な実務経験を 3 年以上有する者。
- ② 資格基準：職長としての十分な技能を有することが確認される発破技士、火薬類取扱保安責任者（甲・乙）、土木施工管理技士（1 級・2 級）の各資格、及び優秀施工者（建設マスター）顕彰の内、いずれか 1 つを有していること。又、「職長教育修了者又は、職長・安全衛生責任者教育修了者」を 1 つ有していること。

(2) 講習の実施方法

- ① 講義方式・時間：e ラーニング（動画視聴） 約 16 時間
- ② 受講可能期間：7 月～12 月末 ※受講手続き完了次第随時
期間中は繰り返し視聴可能
- ③ 使用テキスト：登録基幹技能者共通テキスト — 建設業振興基金編 —
登録トンネル基幹技能者専門テキスト — 本協会編 —
その他テキスト
- ④ 科目内容および講義時間

講義科目	科目ごとの内容	講義時間
登録基幹技能者一般知識に関する科目	基幹技能者のあり方等（OJT 教育含む）	1 時間
	トンネル各種施工法	2.5 時間
	施工要領・施工計画等	1 時間

建設工事の施工管理、その他技術上の管理に関する科目	施工管理、工程管理、品質管理に関する事項	6 時間
	資材管理、事務管理、原価管理 に関する事項	3 時間
	安全管理、環境管理 に関する事項	2.5 時間

※詳細は受講者用ページ（受講手続き完了後にアクセス可）参照

（３）試験

- ・方 式：CBT 方式
- ・問 題 数：40 問（四肢択一） ※200 点満点
- ・試験時間：90 分
- ・実施時期：翌年 1 月末

【CBT 方式の試験について】

CBT（Computer Based Testing）方式とは、コンピュータを使用して試験を行う方式。受験者は、指定された試験会場において、監督員の立会いのもと、パソコン画面上で問題に解答する。試験は全国各地に設置された会場で実施されるため、受験者は自分の都合に合わせて日時および会場を選択して受験することが可能となる。

※受験の詳細については受験手続時に別途お知らせします。

（４）受講料等

- ① 受講料： 20,000 円（含 受験料・テキスト代 等）
- ② 登録料： 5,000 円（一般）
2,000 円（会員）
- ③ 助成金： 新規講習及び更新講習（講習方式で実施の場合）受講について、事業主（雇用保険適用事業主）に対しての助成制度があります。
（申請期間：実施から 2 か月以内）
詳しくは、最寄りの下記機関にお問い合わせ下さい。
 - ・都道府県労働局、公共職業安定所（ハローワーク）
 - ・地域障害者職業センター雇用支援課等

□ [人材開発支援助成金（旧建設労働者確保育成助成金）厚生労働省ホームページ](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

(5) 講習修了認定および講習修了証の交付等

- ① 試験の結果、満点の6割以上を得点し、育成委員会で修了認定された者には、本協会から「登録トンネル基幹技能者講習修了証」を交付する。
- ② 講習修了証交付者の記録は本協会で保管し、(一財)建設業振興基金の登録基幹技能者データベースに登録する。
- ③ 育成委員会にて、修了認定されなかった者には、その旨を文書で連絡し、翌年度および翌々年度迄の再受験（講習受講免除）を認める。

II 受講申込要領

(1) 申込みに必要な書類等

- ① 「受講申込書」別添（様式－1）、及び「受講申込資格確認・証明書」別添（様式－2）の記載欄に必要事項を記入し捺印する。
- ② 顔写真（無帽で肩から上部を最近6ヵ月以内に撮影したもの）を2枚（サイズは横2.4cm×縦3cm）用意し、裏面に氏名を記入の上、うち1枚は上記申込書（様式－1）の所定欄に貼付、残り1枚（受講票用）はクリップで止めて提出する。
- ③ 受講申込時に必要な資格及び保有資格証（特別教育は除く）は全ての写しを添付し提出する。
- ④ 受講情報（eラーニング受講のためのID・パスワード、試験受験情報 等）の連絡は全て本人宛メールにて行うため、受講申込書に情報受信用のメールアドレスを必ず記入するほか、協会事務局が受講者本人のメールアドレスを確認するためのものとして、記入済みの（様式－1）のコピーをPDF化したものを添付したメールを、当該メールアドレスから下記の協会アドレス宛に発信する。

kyotsu@tonnel.jp

宛先：登録トンネル基幹技能者講習事務局

(2) 申込みの方法等

- ① 申込受付：当協会ホームページに講習案内を掲載した翌日より受付を行う。
- ② 申込方法：受講申込書（様式－1）に必要書類を添えて、封筒表に受講申込書
在中と記載の上、下記宛に簡易書留にて送付する。
- ③ 送付先：〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロドリー西新橋9階
一般社団法人 日本トンネル専門工事業協会 宛
- ④ 申込開始・締切日：
「登録トンネル基幹技能者講習案内」を当協会ホームページに掲載した翌日から2026年11月末日までとする。

(但し、2026 年 11 月末日までに申込書類が到着した場合でも、所要の申込書類が整わなかった場合は申込みを受付無い場合もある)

⑤ 受講料の納付：

受講申込者は受講許可書及び請求書を受領後、速やかに下記銀行口座へ振込むこと。

【振込先】

三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店 普通口座 0047102

一般社団法人 日本トンネル専門工事業協会 代表理事 横山英樹

受取口座名義 シャ) トンネルセンモンキョウ

(3) 受講申込み後から受講まで

- ① 事務局は、受講資格を審査し、受講を受付けた旨の文書に WEB 講座受講用の ID・パスワードを記載し本人宛のメールアドレスに発信する。
- ② 資格審査で受講が認められない者及び申込期限を超過した申込者には、その旨を連絡する。

(4) 個人情報の取扱いについて

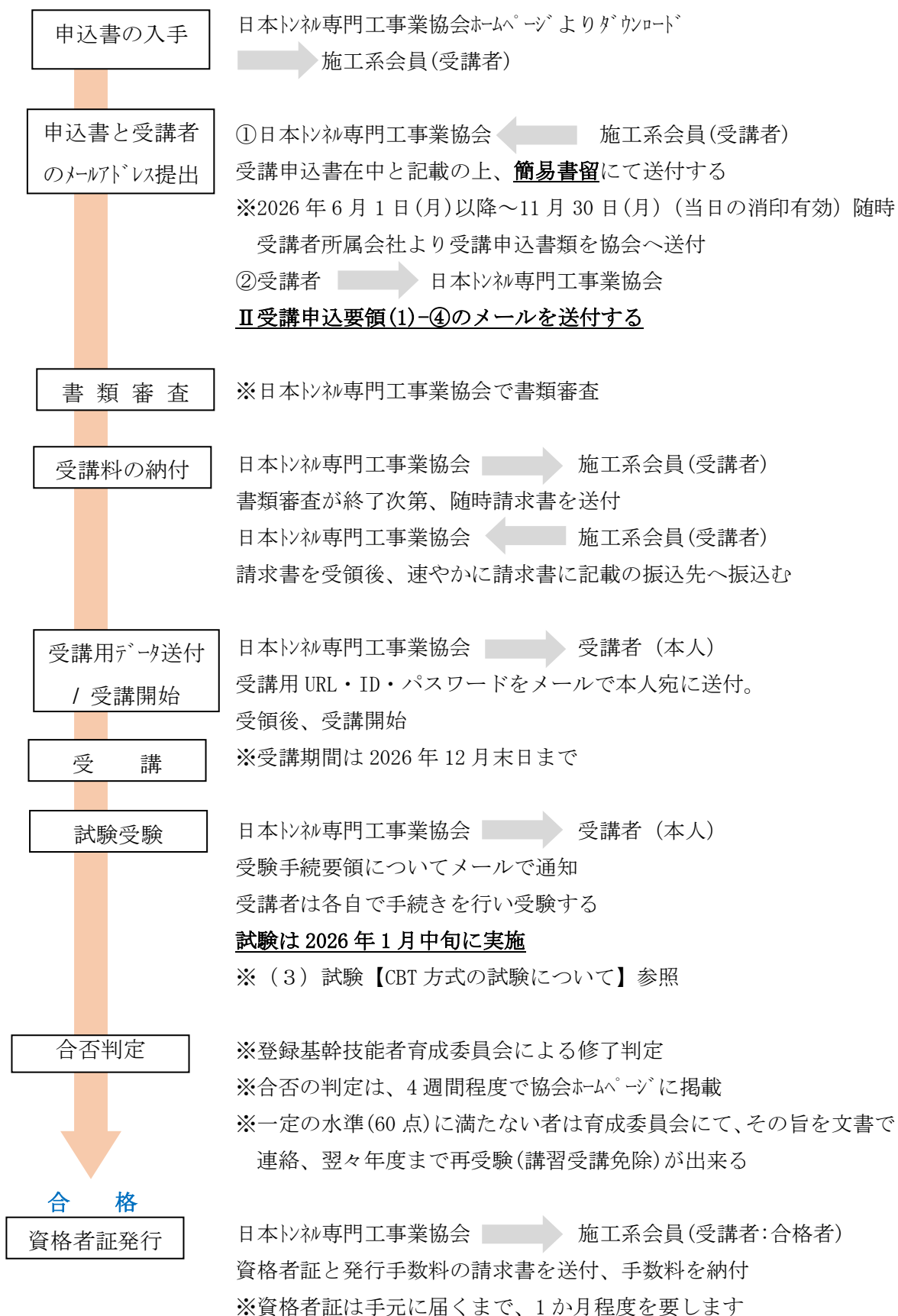
- ① 受講申込書に記載された個人情報は、登録トンネル基幹技能者業務、公的機関等からの登録基幹技能者に関するアンケート調査等に利用します。
- ② 試験合格者の氏名、フリガナ、年齢、勤務先、講習修了番号、修了日は当協会発行の会報、ホームページ、及び登録基幹技能者データベースサイト等にて公表します。

＊本講習受講申込書を提出された場合は、以上の利用目的、方法にご了承頂いたものと致します。

(但し、氏名、フリガナ、年齢、勤務先の公表を希望しない方はその旨をメールにてお申し出ください。当該事項の公開を致しません。)

以 上

(5) 認定講習のフロー図



2026年度「登録トンネル基幹技能者講習」受講申込書

私は、以下の通り貴協会が実施する「登録トンネル基幹技能者講習」の受講を申し込みます。申込みに当たり「受講申込資格確認・証明書」（様式—2）及び定められた必要書類を添付します。

(2.4 cm $\times$ 3 cm)

氏名： (印)

(注) 申込みに当っては、別紙の「受講申込資格確認・証明書」(様式一2)とともに、記入要領に従って記入し必要書類を添付して下さい。

(様式—2)

2026 年度「登録トンネル基幹技能者講習」

受講申込資格確認・証明書

一般社団法人

日本トンネル専門工事業協会

代表理事 会長 横山 英樹 殿

(フリガナ)		昭和・平成 年 月 日生
申込者氏名		年齢： 歳
申込者住所		

イ. 経歴基準について

私のトンネル工事における実務勤務経験、及び職長経験は下記の通りです。

所 属 会社名	職長 経験	トンネル工事名	実務勤務期間	実務経験 年 数	業 種	作業の種類
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
※トンネル実務経験期間の合計 年 ヶ月、うち 10 年以上の業種 _____ 年 ヶ月						
うち職長経験期間の合計 年 ヶ月						

注 1：受講資格として、同一業種で 10 年以上のトンネル工事の実務経験と、そのうち 3 年以上の職長経験が必要です。上の表に古い順に記入して下さい。

注 2：職長経験工事は職長経験欄に○印を入れて下さい。職長経験期間の合計は、経歴 10 年以上の業種における期間の合計を記入して下さい。

注 3：「業種」の欄には、とび・土工工事業、又は土木工事業を記入して下さい。

注4：「作業の種類」欄には、担当した技能作業を具体的に記入して下さい。

例)トンネル切羽作業、コンクリート覆工作業、火薬取扱作業、シールド切羽作業等

注5：事業主が受講者の場合、証明者記載欄の証明は、工事注文者をお願いして下さい。

ロ. 資格基準について

下記の（ ）内に記載のある該当事項を○で囲んで下さい。また、該当資格者証・修了証の写しを全て提出して下さい。

私は、発破技士免許の資格を持っています。 (・はい・いいえ)

私は、火薬類取扱保安責任者(・甲種・乙種)の資格を持っています。 (・はい・いいえ)

私は、ずい道等(・掘削・覆工)作業主任者の資格を持っています。 (・はい・いいえ)

私は、(・土木1級・土木2級)施工管理技士の資格を持っています。 (・はい・いいえ)

私は、国土交通大臣から優秀施工者(建設マスター)の顕彰を受けています。 (・はい・いいえ)

私は、3年以上前に職長・安全衛生責任者教育を修了しております。 (・はい・いいえ)

確 認 ・ 証 明 欄

(申込者本人記載欄)

私は、登録トンネル基幹技能者講習の受講申込をするにあたり、イ. 経歴基準、
ロ. 資格基準について前記申告の通り相違ありません。

相違がある場合は、合格を取消されても異存ありません。

2026 年 月 日

本人署名

㊞

(証明者記載欄)

本講習の申込者が申告したことは、相違ないことを証明します。

2026 年 月 日

(証明者) 会 社 名

代 表 者

㊞

注1：貴社へ入社以前の経歴については、本人の申告通りであるか確認して下さい。